

A: 雪が溶けてから現場を確認し検討します。

Q: 大沢から矢坂へ向かう際、大沢橋(大沢と矢坂を結ぶ橋)を通るが、橋を渡った後の坂道が急で、凍結している冬期間は、車での通行にとっても危険を感じる。何らかの対応はできないのか。

A: 問題の道路は県道ですので、町から県に要望します。

Q: 大沢体育館の外壁と床は補修したので当分補修の心配はないと思うが、屋根の補修をしていないので、もし補修が発生した場合は、コストの問題ですぐに取り壊してしまうのか。

A: 現段階では確約はできませんが、できる限り残していければと思います。

Q: 農村公園の松(門から向かって右側)が、支障木となっているので役場で切ってほしい。

A: 分かりました。

Q: 農村公園の杉(門から向かって左側)が大きくなりすぎて、倒れた場合家屋に支障をきたす恐れがあるので、松を切るついでに切ってほしい。

A: とりあえず松と聞いていましたが、杉についても検討のうえ早めに対処します。

Q: 農村公園の桜が何本か病気になるって花が咲かない。この桜についても、間引きして新しい苗木を植えたい。

A: 分かりました。今年の開花後に確認したうえで検討します。ただし、切った後の桜の植樹について町は関与しませんのでご了承ください。

● 1月26日(月)

藤琴地区……23名



総合開発センター

Q: 寺沢の芦名鉄工所付近の歩道・道路に、雨が降ると大量に水がたまるので改善してほしい。

A: 県に要望します。

Q: 粕毛の神社から清水岱まで続いている道路だが、近くにプラントがあるせいか、所々穴が開いている。地元の方は把握しているので回避できるが、町外から来た人は現状を知らないため危険だと思う。改修することを検討してほしい。

A: ご指摘のあった道路については、まだ確定はしていませんが、国の交付金を受けられれば大きな面積で改修する予定です。

Q: 北羽新聞に町長の対談が載っていた。

高齢化が進む中で高齢者の生涯活動を推進していきたい旨の内容が書かれていたが、具体的対策を伺いたい。

A: 高齢者のバス無料券の発行(バスを利用して町の中心部に来て買い物したり話をしたりできるように)、集会施設のバリアフリー化(矢坂・粕毛の旧集会施設は大広間に行くためには2階にあがる必要があり、高齢者には負担であった。北部地区の旧集会施設は真名子地区にあったが、人の集まりやすい金沢地区に移設した。来年度建設予定の大沢地区集会施設も高齢者に配慮して坂の下にある大沢保育園跡地に建設予定)、ふじこま大学の実施により高齢者同士の活動機会の増進、高齢者から希望のあった猿ヶ瀬園地のグラウンドゴルフ場設置、町民バスの開放、土床体育館の建設等、高齢者の健康と生きがいの促進のために対策を講じてきました。また、清流荘を民宿施設に改修し、北部地区の高齢者が結成したクマゲラの会が運営するなど、新しい形態での活動も開始されています。

Q: 町のホームページの更新がされていないように感じるが、更新のサイクルはどのようになっているのか。また、他の市町村のホームページと比べて工夫がされておらず、人を引きつける内容となっていないので、もっと工夫をするべきだ。

A: 役場からのお知らせがあった場合は随時更新していますが、それ以外はホームページ上への広報掲示のみの更新(月1回)となっています。今後、役場基幹システムの更新を予定しており、それま

ではこの形態での運用となつてしまいますので、具体的な提案がありましたら、ご連絡ください。役場ではホームページの他、観光向けの「白神山地に来てからんしえ」というブログの展開を行っています。それ以外の藤里町の紹介をしているホームページは、第三者が作成しているため、役場として対策を講じることは出来ませんが、役場で公開しているものについては、ご指摘ありましたように工夫するよう努めます。

Q: 役場では、雪が降る前に流雪溝の管理(冬期間の流雪溝管理も含めて)をしているのか。毎年流雪溝が詰まって水が溢れ、非常に困っている。詰まるのが分かっているのなら、流雪溝の幅を広げる等の対策を講じるべきだ。

A: 岩下からの用水路の管理は11月までは土地改良区、12月から冬期間は流雪溝として役場で管理しています。雪の降る前も流雪溝の点検はしていますし、冬期間も取水口の管理等も含めて行っています。流雪溝といっても、土地改良の用水路を利用したもので、傾斜もなだらかな構造となっています。川から取水していますが、雪が降ると降り積もった雪が川の水を吸うため水量が下がり、水量が下がると当然流雪溝に取水できる水量も減ります。更に、気温が下がった場合は、流雪溝の両脇に捨てられた雪が凍って付着し、詰まりの原因になります。以上のことから、役場では気温の低いとき、水量の少ないときの流雪溝の利用を控えることや、一度に大量に雪を捨てないことを広報等